

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート②

基本目標2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画1 総合的な相談支援体制の整備	
45	モデル事業による実証実験の実施
46	総合相談支援センターの在り方の検討
基本計画2 分野横断的な支援・一体的な福祉サービスの提供	
47	生活困窮者への支援
48	子どもの貧困対策
49	支援会議 の設置検討
50	子どもに対する切れ目ない支援
51	地域福祉庁内検討会議の開催
52	共生型サービスの推進
基本計画3 適切で利用しやすい福祉サービスの提供	
53	地域ケア会議の充実
54	対象者の特性に合わせた情報提供や申請手続きの配慮
55	給付費の適正化チェック
56	サービス支給決定までの迅速化
57	精度の高い需給計画の策定
基本計画4 虐待やDVから守るための支援	
58	通報先の周知徹底
59	関係機関の連携の充実・強化
60	関係機関への研修の実施
基本計画5 権利擁護の推進	
61	市民後見人の養成
62	法人後見事業 の検討
63	成年後見市長申立ての推進
64	日常生活自立支援事業の実施
基本計画6 心身の健康づくり・健康寿命の延伸	
65	各種健康診査や検診の啓発・周知
66	地域診断 の実施
67	こころの広場
68	生活習慣改善への支援
69	食生活改善への支援
70	ふれあい・いきいきサロンの充実
71	認知症の正しい理解の促進・早期発見の推進
72	フレイル予防の推進
基本計画7 居住・就労・移動手段の確保支援	
73	あんしん賃貸支援事業 へのつなぎ
74	高齢者の就労支援
75	障がい者の就労支援
76	障がい者雇用の促進
77	ひとり親家庭に対する自立支援
78	福祉有償運送 の実施
79	障がい者のタクシー料金の助成
80	高齢者の移動支援
81	生活困窮者への支援

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	1 総合的な相談支援体制の整備	
取組	モデル事業による実証実験の実施	担当課 福祉政策課 市社協

1 内容

- 市内の複数の地域で、モデル的に以下の内容の事業を実施し、その事業効果を検証することで、新体制への移行のためのプログラムを策定します。
- ①市社協にコミュニティワーカーを配置し、モデル地区において、地域の住民や団体、事業者等の多様な主体が交流し、協働体制の構築につながるるとともに、住民向けの研修を行う地域福祉のプラットフォームとなる場や環境を整備します。そのために、まずは地区内の地域福祉活動の在り方や社会資源の状況を検証します。
 - ②コミュニティワーカーは、出張相談や民生委員・児童委員などの地域福祉活動者との連携等により、リスク要因をもつ家庭の状況の把握に努め、問題の発生・深刻化の防止に努めるとともに、地域の困り事を受け止め、コミュニティソーシャルワーカーと連携しながら、支援関係機関へのつなぎや地域住民同士の相互扶助による解決への導きを行います。
 - ③コミュニティソーシャルワーカーを配置し、多機関協働のネットワークを構築します。複合的な課題を抱えたケースに対しては、チームで支援を行います。
 - ④コミュニティソーシャルワーカーとコミュニティワーカーの研修プログラムを作成し、人材育成を行います。
 - ⑤「米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会」を開催し、モデル事業の検証を行います。

2 取組内容に係る方法・指標

- 新体制へ移行するために配置すべきコミュニティワーカー、コミュニティソーシャルワーカーの人数、総合相談支援センターの運営に必要な人材、総合相談支援センターの運営費等の基礎となる数値を確定します。併せて、新体制移行に係る課題に対する対策を明らかにします。

3 令和2年度の実証実験内容、成果、課題、自己評価

<p>【取組内容】</p> <p>●モデル地区にコミュニティワーカーを配置し、関係機関によるネットワーク構築、地域課題の解決を図る取組みなど地域福祉活動の支援を行いました。また出張相談等により個別課題を把握し、住民活動を含めた関係機関により解決できるよう働きかけました。</p> <p>●モデル事業による実証実験を行う中で、新体制への移行に必要な活動や仕組みづくりについて検討しました。</p>																			
<p>【成果】</p> <p>●モデル地区にてコミュニティワーカーが活動することで、顔の見える関係づくりや自治会単位での相談支援を実施することができ、地区内のネットワーク構築、住民活動の推進、プラットホームの場づくり、地域課題の解決等について一定の成果がありました。</p> <p>●個別ケースについて相談を受け付け、関係機関への繋ぎや協働による支援活動により、課題解決を図ることができました。</p> <p>●今後、新体制に移行するために必要な活動や仕組みづくりについて整理することができました。</p>																			
<p>【課題】</p> <p>●一定の成果はありましたが十分とは言えないため、今後も活動の推進や地域づくりの手法を検討していく必要があります。</p> <p>●今後、活動を広げていくためには、専門性を持つコミュニティワーカーの育成を図る必要があります。</p> <p>●総合相談支援センターの運営に必要な人材、総合相談支援センターの運営費等の基礎となる数値を確定する必要があります。</p>																			
<p>【自己評価】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">点数</th> <th style="width: 40%;">評価基準</th> <th style="width: 10%;">自己評価</th> <th style="width: 40%;">評価に対する説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>完了（目標達成）</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em; font-weight: bold;">3</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top; padding: 5px;">●モデル事業について、概ね順調に実施できており一定の成果が得られたと考えますが、まだ不十分な点もあります。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>順調に進んでいる</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>概ね順調だが、不十分な点が少しある</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>実施されている部分もあるが、不十分な点が多い</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>実施方法も含め改善が必要がある</td> </tr> </tbody> </table>				点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明	5	完了（目標達成）	3	●モデル事業について、概ね順調に実施できており一定の成果が得られたと考えますが、まだ不十分な点もあります。	4	順調に進んでいる	3	概ね順調だが、不十分な点が少しある	2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い	1	実施方法も含め改善が必要がある
点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明																
5	完了（目標達成）	3	●モデル事業について、概ね順調に実施できており一定の成果が得られたと考えますが、まだ不十分な点もあります。																
4	順調に進んでいる																		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある																		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い																		
1	実施方法も含め改善が必要がある																		

4 令和3年度の実証実験内容

- 引き続き、モデル事業による実証実験を継続します。
- 総合相談支援センターの運営に必要な人材、総合相談支援センターの運営費等の基礎となる数値を確定します。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	1 総合的な相談支援体制の整備	
取組	総合相談支援センターの在り方の検討	担当課 福祉政策課

1 内容

●エリアごとに、地域住民や地域包括支援センター、一般相談支援事業所などの支援関係機関で構成される推進会議を設置し、総合相談支援センターの具体的な業務内容、人員、移行プロセス等を検討します。

2 取組内容に係る方法・指標

- 全てのエリアにおいて推進会議を設置します。
（設置数：7エリア）〈令和2年度4月現在〉なし
- 総合相談支援センターを設置します。
（設置数：1箇所以上）〈令和2年度4月現在〉なし

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●総合相談の中心となる人材を確保しました（専門職員2名）。
また、各福祉分野の部署及び事業所に対して、同センターの設立の意図などの周知を行いました。

【成果】

- 推進会議：なし
- 総合相談支援センター：なし
（令和4年度に設置予定）

【課題】

●今後、総合相談支援センターの数を増やしていくことを念頭に置いた場合、推進会議を通じて、分野を横断した協働や、意識の統一を図る必要性があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●総合相談支援センターについては、福祉の各分野において、事業者が集まる会などで周知は行えましたが、意識の統一に更に注力する必要があります。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●令和4年度にふれあいの里にオープンする総合相談支援センターの開設準備をします。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	2 分野横断的な支援・一体的な福祉サービスの提供	
取組	生活困窮者への支援	担当課 福祉課 市社協

1 内容

- 「生活困窮者自立相談支援事業」により、経済的、社会的困窮者に対し、自立した生活に向かえるよう、伴走型の相談支援を実施します。
- 「フードパートナー事業」により、一時的に食事の確保に困っている世帯に対して、食料等を提供する生活再建に向けた支援を行います。また、食材・食品の提供者を募り、市民が互いに助け合う地域づくりを目指します。
- 「たすけあい金行」や「生活福祉資金貸付事業」を実施し、生活困窮者に対する経済的自立に向けた支援を行います。
- 日常生活の悩みや心配ごとについて相談に応じる一般相談を通じて、世帯の課題を把握し解決できるよう支援していきます。

2 取組内容に係る方法・指標

- 「生活困窮者自立相談支援事業」における作成プランのうち、本人とともに作成したプラン目標の達成率を70%とします。
※評価基準は①全て出来た(5点)②ほぼ出来た(4点)③半分出来た(4点)④ほぼ出来なかった(2点)⑤出来なかった(1点)の5段階評価とし、評価方法は相談者及び支援者の自己評価を突合し、乖離がある場合は双方の評価点の平均値とします。
- 経済的自立に向け、各種貸付事業を継続して実施します。経済的支援に留まらず、生活全般の支援に繋がるよう関係機関との連携を推進します。月1回以上の支援調整会議を継続的に実施します。
- 一般相談事業を継続し、必要な関係機関へ繋ぐなど解決に向けた支援に取り組みます。

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 生活困窮者自立支援事業において、生活困窮に関する様々な相談を受け付け、必要に応じて関係機関と連携しながら、自立に向けて包括的、継続的な支援に努めました。
- 相談者と共にプランを作成し、課題解決に向けた目標や支援内容を確認しました。
- 支援調整会議を月1回開催し、新規プラン策定、評価、終結において適切であるか等、合議のもと判断しました。また個々のプラン案に関する支援方針、支援内容、役割分担等について共通認識を醸成しました。
- フードパートナー事業において、一時的に食料の確保が必要な世帯に対して食料支援を実施しました。また広報誌を通じて食品提供者を募りました。
- たすけあい金行、生活福祉資金において、生活費など必要な資金の貸付事業を実施しました。
- 総合相談において日常的な心配事から各種専門的な相談を受け付け、行政機関や関係機関につなぎ課題解決に努めました。

【成果】

- 新規相談件数 <令和2年度3月現在> 1,526件（月平均127件）（昨年度273件）
- プラン作成件数 <令和2年度3月現在> 28件（目標達成率79%）
- 支援調整会議回数 <令和2年度3月現在> 10回（目標達成率83%）
（新規プラン23件・再プラン、評価7件・終結11件・困難事例5件）
- フードパートナー事業 <令和2年度3月現在> 申請件数：30件、登録者：17件
- たすけあい金行、生活福祉資金 <令和2年度3月現在> たすけあい金行：59件、生活福祉資金申請：51件
生活福祉資金特例申請：2,692件（コロナ特例貸付含む）
- 総合相談 <令和2年度3月現在> 一般相談：105件、法律相談：22件

【課題】

- 新型コロナウイルスの影響により、昨年に比べ新規相談件数が5.7倍に急増しました。プラン件数は例年並みの件数に留まりましたが、プラン作成に至らないケースについても、必要な制度や専門窓口につなぎ、課題解決に努めました。自立に向け効果的な支援を実施するためには、積極的にプランを作成することが必要となります。
- プラン件数については支援調整会議に諮ったプランのみを算定しています。今後は支援調整会議でのプランの取扱い及び件数の算出方法を見直す必要があると考えます。
- 自立相談支援事業において、アウトリーチによる相談支援ができていない状況がある。広く情報発信し、支援が必要な方に制度が行き届くよう取り組む必要があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	4	●各事業において効果的な相談支援を行うことができたが、実施における課題もあります。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

- 「生活困窮者自立相談支援事業」により、経済的、社会的困窮者に対し、自立した生活に向かえるよう、伴走型の相談支援を実施します。令和3年度はプラン作成件数の目標値を設定します。
- 「フードパートナー事業」により、一時的に食事の確保が必要な世帯に対して、食料等を提供する生活再建に向けた支援を行います。また、食材・食品の提供者を募り、市民が互いに助け合う地域づくりを目指します。
- 「たすけあい金行」や「生活福祉資金貸付事業」を実施し、生活困窮者に対する経済的自立に向けた支援を行います。
- 日常生活の悩みや心配ごとについて相談に応じる一般相談を実施することにより、世帯の課題を把握し、関係機関へのつなぎも含め解決できるよう支援していきます。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	2 分野横断的な支援・一体的な福祉サービスの提供	
取組	子どもの貧困対策	担当課 子育て支援課

1 内容

●「米子市子どもの貧困対策推進計画」に基づき、子どもが安心して生活でき、豊かな経験を積むことができる環境づくりや貧困の連鎖を断ち切るための子どもの学力向上の取組を推進します。

2 取組内容に係る方法・指標

●学習支援事業である「こども☆みらい塾」について、多くの子どもが参加できるように、開催箇所を増やします。
 (こども☆みらい塾実施箇所：3箇所)〈令和2年度4月現在〉1箇所

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●コーディネーターに島根大学特任教授を配置して、学習支援ボランティア（島根大学学生、教員OB、市職員等）の指導監督を行いました。また、定期的に親子面談等を行い、子どもの特性や家庭環境を把握して、子どもに合った学習計画を立てた学習会を実施しました。

【成果】

●学年や子どもの特性等に合わせた計画的な学習支援により、子どもに精神的落ち着きと学習面での定着が図られ、参加人数が増加しました。

【課題】

●参加人数の増加により、学習支援の開催場所を増設する必要があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●子どもに安心・安全な居場所を提供するとともに、大人との関わりなど、豊かな経験を積みながら学力向上を図ることができました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点がある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●引き続き、現行のこども☆みらい塾を実施していきます。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	2 分野横断的な支援・一体的な福祉サービスの提供	
取組	支援会議の設置検討	担当課 福祉政策課 福祉課

1 内容

●生活困窮者自立支援法に規定されている「支援会議」について、地域ケア会議や要保護児童対策地域協議会等、ほかの会議との関係を整理した上で、設置に向けた検討を行います。

2 取組内容に係る方法・指標

--

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●支援会議の開催をモデル事業の中で試行的に実施しました。

【成果】

●試行的ではあるが、実際に会議を開催することができ、会議に関わる関係機関と共に支援会議について理解を深めることができました。

【課題】

●円滑に会議を進めることや、個人情報の取扱いに関する認識の更なる向上が必要です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●会議の開催は果たせましたが、会議の内容をより充実させる必要があります。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●引き続き会議を開催します。

--

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	2 分野横断的な支援・一体的な福祉サービスの提供	
取組	子どもに対する切れ目ない支援	担当課 <small>こども相談課、子育て支援課、学校教育課、健康対策課、こども相談課、子育て支援課、障がい者支援課</small>

1 内容

- 就学前の子どもや保護者への支援を小学校へつなぎ、就学後も適切な支援を行うため、保育施設と小学校の合同情報交換会の開催や「就学予定児引き継ぎシート」、「就学支援シート」により、就学先の小学校への情報提供を行います。
- 医療機関で発達障がいの診断を受けた子どもとその保護者に対する支援がスムーズに行われるよう、「こども総合相談窓口」と医療機関との連携を強化します。

2 取組内容に係る方法・指標

- 全ての小学校で合同情報交換会を行います。
- 就学前に、支援が必要と思われる児童に対する、個別の教育支援計画を作成します。

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 全ての小学校で合同情報交換会を実施しました。
- 園長校長合同連絡会、全ての小学校で合同情報交換会を行い、幼保小連携の推進を重点的に取り組みました。
- 就学前の保護者に対する就学相談会を行いました。

【成果】

- 次年度就学予定園児のうち、配慮や支援の必要な園児の情報を保護者の同意を得て、就学先の小学校と共有し、連携を取りながら就学の準備を行うことができました。
- 早めに情報交換することで学校は対応の準備を、園は入学に向けての手立てを早めに始めることができました。
- 保護者の就学に関する不安の軽減ができました。

【課題】

- 園から小学校へ情報提供する際のシートが複数あり、それが園の負担感につながるため、引継ぎシートの整理が必要です。
- 本人・保護者や園との合意形成、医療的ケア児についての学校の整備、引継ぎについて課題が残りました。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●早期に配慮や支援の必要な園児について情報交換を行うことにより、一定程度スムーズな就学につながっていると考えます。 ●コロナ対策により、昨年度は米子市小学校オープンスクールが開催できませんでしたが、幼保小連携について、その目的をおおむね達成したためです。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

- 引き続き全ての小学校で合同情報交換会を行います。
- 園長校長合同連絡会、全ての小学校で合同情報交換会を行います。また、米子市小学校オープンスクールを開催し、幼保小連携の推進を重点的に取り組みます。
- 就学相談会を開催します。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	2 分野横断的な支援・一体的な福祉サービスの提供	
取組	地域福祉庁内検討会議の開催	担当課 福祉政策課

1 内容

●市の様々な分野の担当課で構成する「地域福祉庁内検討会議」を開催することにより、地域課題の共有化を図りつつ、分野横断的な施策展開へつなげます。

2 2 取組内容に係る方法・指標

●地域福祉庁内検討会議を開催します。
（開催回数：2回/年間）

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●地域福祉庁内会議を7回実施しました。
（メンバー：福祉保健部の課長補佐・担当課長補佐）
重層的支援体制整備や断らない相談など、今後福祉保健部で向かっていく方向性についての意識の統一などを行いました。

【成果】

●福祉保健部の意識の統一が図れました。

【課題】

●福祉保健部内の更なる連携強化と、全庁での意識の統一が課題です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●会議の開催回数は目標を達成しました。この会議を通して意識づけはできましたが、目に見えるカタチでの成果はありませんでした。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●会議を引き続き実施し、部内の意識共有を図ります。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	2 分野横断的な支援・一体的な福祉サービスの提供	
取組	共生型サービスの推進	担当課 長寿社会課

1 内容

●新たに創設された共生型サービスが適切に提供されるよう、介護サービス事業者等に対し、運営等の基準や介護報酬の仕組み等について、必要な情報提供を行っていきます。

2 取組内容に係る方法・指標

--

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●共生型サービスの指定について問い合わせへの協議を行いました。

【成果】

●情報提供や協議を行い、共生サービスの推進に努めました。

【課題】

●共生サービスの更なる推進のため、情報提供や協議を粘り強く行います。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●運営等の基準や介護報酬の仕組み等について、必要な情報提供を行いました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●引き続き、情報提供に努めます。

--

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	3 適切で利用しやすい福祉サービスの提供	
取組	地域ケア会議の充実	担当課 長寿社会課

1 内容

●地域包括支援センターが実施する「地域ケア会議」において、医療・介護などの多職種が協働し、高齢者の個別課題の解決を図るとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの点検・支援を行います。

2 取組内容に係る方法・指標

●自立支援型地域ケア個別会議の機能を充実させ、高齢者のQOLの向上や、介護支援専門員の自立につながるケアマネジメントの視点の獲得を図ります。
 （自立支援型地域ケア会議の開催：年6回）〈令和2年度4月現在〉市主催の開催なし

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】
 ●令和2年度自立支援型地域ケア会議を2回（3事例）開催しました。

【成果】
 ●会議には事例担当の介護支援専門員のみでなく他事業所に傍聴の案内をしたことで、高齢者の自立支援に向けた介護支援専門員のケアマネジメントの視点を多くの介護支援専門員が獲得できました。

【課題】
 ●開催回数が2回にとどまりました。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●自立支援地域ケア会議の開催体制を整えることができたが、目標開催回数を満たしませんでした。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●開催回数を増やします。
 ●高齢者の具体的な支援につながるよう、会議の機能充実を図ります。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	3 適切で利用しやすい福祉サービスの提供	
取組	対象者の特性に合わせた情報提供や申請手続きの配慮	担当課 長寿社会課 障がい者支援課

1 内容

- 福祉サービスの提供に関して、障がい者や高齢者等を情報弱者にしないために、それぞれの特性に対応した情報提供やコミュニケーションの在り方を検討します。
- 福祉サービスの申請手続きについて、誰もが利用しやすいよう、方法や場所等について配慮します。

2 取組内容に係る方法・指標

- 地域包括支援センター等の支援機関や民生委員等の支援者へ福祉サービスに関する情報提供を行い、見守り活動等を通じた広報を行います。
- 音声コードの活用など、年齢や障がいの特性に配慮した情報保障の取組を行います。

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 定例的に開催している地域包括支援センター会議および民生児童委員協議会地区会長会において、必要に応じて福祉サービスに関する情報提供を行いました。
- 障がい特性に配慮した情報保障の取組として、聴覚障がい者への災害発生時のFAX一斉送信、視覚障がい者を対象とした防災ラジオ事業を実施しました。

【成果】

- 支援機関等での見守り活動等において、支援対象者の状況に応じた広報をしていただきました。
- 障がい者への情報保障の手段を確立することができました。

【課題】

- 感染予防対策を行う上で、見守り活動等が例年通りに実施できませんでした。
- 情報保障の取組として、視覚障がいのある方に対する市から郵便物への点字シールの貼付の徹底、通知への音声コードの活用について検討する必要があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	4	●障がい者への情報保障の手段を確立することができました。 また、特別支援学校の生徒の卒業後の円滑な障害福祉サービスへの移行ができました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

- 円滑な障害福祉サービスの利用に向けて、引き続き就労アセスメント調整会議を開催し、福祉相談・移行支援会議に参加情報共有を図ります。
- 引き続き、様々な場面において障がい者の特性に応じた情報提供やコミュニケーションの在り方を検討します。
- 引き続き、支援機関等への情報提供を行っていきます。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	3 適切で利用しやすい福祉サービスの提供	
取組	給付費の適正化チェック	担当課 福祉政策課

1 内容

- 各福祉分野の公的サービス給付が、量・質ともに適正であるかチェックする体制を整備します。

2 取組内容に係る方法・指標

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 実施した内容はありません。
（急務（特別定額給付金業務及び新型コロナウイルスのワクチン接種業務）への対応により、実施することができませんでした）

【成果】

- なしです。

【課題】

- 本取組を実施する人員の確保が必要です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	1	●実施した内容がないため、この点数としました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

- 本取組の実施について、再検討を行います。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	3 適切で利用しやすい福祉サービスの提供	
取組	サービス支給決定までの迅速化	担当課 長寿社会課 障がい者支援課

1 内容

- 福祉サービスの申請から審査、支給決定までの一連の事務処理手順を見直し、迅速化を図ります。

2 取組内容に係る方法・指標

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 福祉サービスの利用者負担額の更新手続きの際に必要な様式を見直し、添付書類の一部を廃止しました。
- サービス更新時期の平準化を図るため、障害支援区分の有効期間の終了月を誕生日とする取組を開始しました。
- 事務処理手順の見直しを検討しました。

【成果】

- 利用者負担額更新事務の迅速化・簡素化を図ることができました。
- 障害支援区分の有効期間を短縮し、その末日を誕生日にする取り組みを開始することで、将来的に区分更新及びサービス更新の時期を各月に分散させることが可能となりました。
- 課題がある事務処理を優先的に検討することができました。

【課題】

- サービス利用者や関係機関との調整の問題があり、全ての事務を見直すことは難しいです。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	4	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者負担額更新事務の迅速化を図ることができました。また、将来的に相談支援事業所も含め業務負担を分散させることが可能となるサービス更新時期の平準化への取り組みを開始することができました。 ●迅速化を図れた部分もあるが、関係機関との調整等の課題があり、全ての事務を見直すことは難しいです。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

- 福祉サービスの支給決定事務の中で、新たな見直しによる事務の迅速化の可能性について、検討を行います。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	3 適切で利用しやすい福祉サービスの提供	
取組	精度の高い需給計画の策定	担当課 長寿社会課、障がい者支援課 福祉課、子育て支援課

1 内容

- 各福祉分野の需給計画の精度を高め、適切な給付が行われるよう努めます。

2 取組内容に係る方法・指標

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 令和3年3月に策定した障がい者支援プラン2021のなかで、令和3～5年度に向けての障がい福祉サービス、相談支援などの提供体制の確保について決めました。
- 高齢者福祉サービスのニーズを的確にとらえた給付を行うため、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定しました。

【成果】

- 適切な給付の実施について明らかにし、今後取り組むべき目標について設定することができました。
- 第8期米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定しました。

【課題】

- 適切な給付が行われているかどうかの把握を確実に行う必要があります。
- 更に高い精度の需給計画を次期計画で策定します。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	4	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な給付の実施について明らかにし、今後取り組むべき目標について設定することができました。 ●第8期米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定しました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

- 支援プラン2021で定めた目標値や取組について推進していくとともに、進捗状況について把握を行いました。
- 次期計画策定に取りかかります。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	4 虐待やDVから守るための支援	
取組	通報先の周知徹底	担当課 子育て相談課、長寿社会課 障がい者支援課

1 内容

●様々な機会を捉えて、市民に対し、虐待の通報先や子育てや介護等に関する相談先の周知を図ります。

2 取組内容に係る方法・指標

3 令和2年度の実施内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 市のHP、広報や関係機関へのチラシの配付、児童虐待防止推進月間のイベント等を通じて、相談先の周知を行いました。
- 障害者虐待防止法に基づき、米子市障がい者虐待防止センターを障がい者支援課内に継続設置し、HPなどで周知に努めました。
- ケアパスを薬局や市施設に設置し、相談先の周知を図りました。

【成果】

- 相談先の周知を行うことで、育児の孤立化の防止、経済的に苦しい家庭等の早期発見、児童虐待防止の効果が図られると考えます。
- 虐待案件について、電話連絡などにより通報を受け、対応を行いました。

【課題】

- 効果的な広報を行うため、様々な手法を検討していく必要があります。
- 米子市障がい者虐待防止センターの役割などを、より多くの方に広く周知するために、引き続きPRに努めます。
- 継続して周知は行っているが、相談窓口の認知度を上げる必要があると考えます。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所、学校等、関係機関等にチラシを配付したりしているが、まだ相談先の周知については不十分なところがあります。 ●虐待が発生した場合の通報窓口として、役割は果たしていると考えます。 ●相談窓口の周知は拡大しましたが、高齢者虐待に特化した周知は拡大していません。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点がある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の実施内容

- 引き続き、あらゆる機会を利用して、相談先の周知に努めていきます。
- 引き続きPRに努め、虐待の疑いなどがあれば適切な対応を図ります。
- 高齢者虐待に特化した周知を機会をとらえて行います。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	4 虐待やDVから守るための支援	
取組	関係機関の連携の充実・強化	担当課 子育て相談課、長寿社会課 障がい者支援課

1 内容

●虐待予防・防止、早期発見、早期対応を図るため、米子市要保護児童対策地域協議会などの関係機関のネットワークや民生委員・児童委員を始めとする地域住民の見守り活動と、各種相談事業所等、虐待を発見し得る機関との連携の充実・強化を図ります。

2 取組内容に係る方法・指標

●医療機関等と連携について共有し、必要な関係機関がさらに密な連絡調整を行うことで迅速な対応の実現を目指します。
 ●事業活動中に、地域において何らかの異常を発見した場合は、市や市社協、地域包括支援センター等に連絡してもらうよう、事業者と協定を結びます。
 （協定締結事業者数：16事業者）〈令和2年度4月現在〉なし

3 令和2年度の実施内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●医療機関については、要保護児童対策地域協議会の構成機関の枠組の中で適切に連携しています。
 ●虐待通告があった場合、連絡調整を行い関係機関と共に対応しました。

【成果】

●関係機関と緊密な連絡調整を行うことで、虐待等の早期発見が可能になり、迅速な対応が可能となっています。
 ●適時、状況を検討し、関係機関と連携することで高齢者の安全を守ることができました。

【課題】

●コロナ禍のため、一堂に会しての協議が困難となり、情報収集に時間を要することがあります。
 ●事例共有等をとおり、より迅速に適切な対応ができる体制作りを図ります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●基本的には関係機関と緊密な関係を築いているが、コロナ禍のため情報収集に時間を要することがあります。 ●虐待通告時、関係機関と連携し、対応することができました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の実施内容

●引き続き、要保護児童対策地域協議会の枠組みを利用して、連携を密に行い、迅速な対応に努めていきます。
 ●事例共有等により、対応力の向上を目指します。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	4 虐待やDVから守るための支援	
取組	関係機関への研修の実施	担当課 子育て相談課

1 内容

●児童虐待を未然に防止するため、米子市要保護児童対策地域協議会主催の児童虐待に関する関係機関向けの研修会を実施します。

2 取組内容に係る方法・指標

--

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●今年度は新型コロナウイルスの影響で研修会を延期しています。

【成果】

【課題】

●新型コロナウイルスの影響でできませんでした。オンラインでの開催も検討したが、関係機関でソフトの統一化ができませんでした。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	1	●要保護児童対策地域協議会研修会が開催できませんでした。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●新型コロナウイルスの影響を考慮し、昨年度の企画であった「不登校」をテーマに関係各課、関係機関と連携して開催を検討していきます。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	5 権利擁護の推進	
取組	市民後見人の養成	担当課 長寿社会課

1 内容

●「一般社団法人権利擁護ネットワークほうき」による市民後見人養成講座の開催を通じて、市民後見人の養成・育成を図ります。
 ●市民後見人が安心して活動できるよう、活躍の場となる権利擁護に関する事業において、活動に対する相談体制を整えます。また、市民後見人を対象としたフォローアップ研修を実施し、知識の向上やモチベーションの維持を図ります。

2 取組内容に係る方法・指標

●市民後見人養成講座を開催し、市民後見人の養成・育成を図ります。
 （修了者延べ人数：260人（25人/年間）） 〈令和2年度4月現在〉 135人（長寿社会課）

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】
 ●「一般社団法人権利擁護ネットワークほうき」による市民後見人養成講座を開催し、市民後見人の養成・育成を図りました。また、市民後見人を対象とした定例学習会の実施、研修会や法改正等の情報提供を適宜行いました。

【成果】
 ●令和2年度米子市市民後見人養成講座修了者
 修了者述べ人数：163人（22人/年間）

【課題】
 ●修了者から新たな市民後見人への就任につなげていくためにも、修了者に対する支援の充実を図ります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●令和元年度講座修了者のうち5人を新たな市民後見人の就任に繋げることができました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●引き続き、市民後見人養成講座を開催し、市民後見人の育成・養成を図ります。
 ●市民後見人に、活動に対する相談への支援、研修会等の参加促進等を行い、知識向上とモチベーション推進を図ります。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	5 権利擁護の推進	
取組	法人後見事業の検討	担当課 市社協

1 内容

●法人後見事業の実施について、組織体制等の研究・検討を行います。

2 取組内容に係る方法・指標

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●うえるかむへの法人会員登録等により、事業に関わる情報収集や成年後見実務者研修に参加しました。

【成果】

●県西部における現状や課題について情報収集を行いました。
また、研修会に参加し、成年後見制度の概要と実務理解を深めました。

【課題】

●法人後見事業実施に向けては、財源確保や組織体制および人員体制の整備が課題です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	2	●事業実施の必要性がありますが、課題解決を行わなければ事業開始及び継続は困難と考えています。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●研修、勉強会等の参加し、制度の理解や情報収集に努めます。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	5 権利擁護の推進	
取組	成年後見市長申立ての推進	担当課 長寿社会課

1 内容

●成年後見制度の利用が必要と思われる人に対し、市長による後見人専任の申立てや成年後見制度利用支援事業による支援を行うことで、権利擁護を図ります。

2 取組内容に係る方法・指標

--

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●成年後見制度の利用が必要と思われる人に対し、市長による後見人専任の申し立てを検討しました。また、対象者に対して、成年後見制度利用支援事業による支援を行いました。

【成果】

●市長申立ての推進、成年後見制度利用支援事業による支援を行い、権利擁護を図りました。

【課題】

●市長申立ての必要性については、慎重な検討が求められるため、関係機関との連携を図る必要があると考えます。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●市長申立てについて、必要性の検討に時間を要しているケースがあります。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●成年後見制度の利用が必要と思われる人に対し、関係機関との連携を図り、必要性を検討した上で、市長による後見人専任申立てや成年後見制度利用支援事業による支援を行い、権利擁護を図ります。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	5 権利擁護の推進	
取組	日常生活自立支援事業の実施	担当課 市社協

1 内容

●日常生活に不安のある高齢者や障がい者等（知的障がい、精神障がい）が、住み慣れた地域、施設や病院などで安心して生活できるよう、日常生活自立支援事業による福祉サービスの利用支援や金銭管理の支援等を行います。

2 取組内容に係る方法・指標

●ニーズ増加による利用待機等の解決を図ります。必要な方を関係機関へ繋げる等の連携を進めます。

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●日常生活自立支援事業を実施し、高齢者、障がい者等に対して、福祉サービス利用援助と日常的金銭管理、書類預かりサービスを行いました。

【成果】

●日常生活自立支援事業の実施
 〈令和2年度3月現在〉
 利用者数：85名（高齢46名、知的障がい25名、精神障がい14名）
 相談件数：2,420件

【課題】

●ニーズ増加による利用待機の課題について、業務の効率化、生活支援員の増員等により改善を図っていますが、解決に至っていません。
 ●金銭管理業務のため、事故防止等の事務量が多く業務負担が大きい状況です。昨今のネットバンキング、ネットショッピング等に対応しておらず制度疲労を感じています。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	2	●事業は利用者の生活安定、金銭面の不安解消に繋がっています。業務改善に努めていますが、課題の解決に至っていません。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●金融機関等への手続きの簡素化の要望等、業務の効率化を図ります。
 ●成年後見制度利用への円滑な移行のための研修及び意見交換や本事業における支援内容の見直しを行います。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	6 心身の健康づくり・健康寿命の延伸	
取組	各種健康診査や検診の啓発・周知	担当課 健康対策課

1 内容

- 保健推進員 や医療機関と連携を図り、各種健康診査やがん検診等の必要性や受診方法等に関する情報発信を行うとともに、受診勧奨を行います。
- 働き世代の受診の機会を広げるため、医師会等と連携を図りながら、休日検診、セット検診を行います。
- 職域との連携を強化し、職域で健康診査や検診を受ける機会がない人に対する働きかけを行います。

2 取組内容に係る方法・指標

- 受診勧奨を行うことで、各種健康診査、がん検診の受診率向上を図ります。
- 健康診査、がん検診：2%向上
 〈令和2年度4月現在〉
 胃がん検診27.6%、肺がん検診19.3%、大腸がん26.7%、子宮頸がん24.1%、乳がん検診14.6%

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 肺がん検診の個別健診を開始しました。
- 健診受診勧奨の啓発グッズを保健推進員が地域で配布しました。
- 保健所と協働で、企業訪問を実施し、働く世代へ健診の情報提供しました。
- 休日がん検診を実施しました。（集団のみ）

【成果】

- 令和2年度受診率
胃：25.4%、肺：19.4%、大腸：24.9%、子宮：22.9%、乳：12.8%
- 企業訪問数：17企業

【課題】

- 新型コロナウイルスの影響により、1日当たりの健診受入人数が減少したため、受診体制の見直しが必要と考えます。
- 新型コロナウイルスの影響により、地域の交流の場が減少し、思うように受診勧奨ができませんでした。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	2	●コロナの影響により、健診受診率の低下が考えられます。 ●体制整備として、個別肺がん健診を実施したことにより、肺のみ受診率向上しました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

- 胃・大腸・肺がん検診の実施期間を延長します。
- 企業訪問を継続します。
- 保健推進員と協働し、受診の勧奨を実施します。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	6 心身の健康づくり・健康寿命の延伸	
取組	地域診断の実施	担当課 健康対策課

1 内容

●保健師とコミュニティワーカーや地域住民との連携による地域診断を実施し、地域の特性に合わせた保健活動につなげます。

2 取組内容に係る方法・指標

--

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●保健師とコミュニティワーカーが、公民館や包括支援センター職員等と情報共有しました。

【成果】

- 地区の実情・課題等を共有できました。
- 関係機関・部署間の相互理解が深まり、連携が強化されました。

【課題】

●地区担当1年目であること、コロナの影響による活動の自粛等から、地区活動参加が限られたため、地域の情報収集が困難でした。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●民生委員、在宅福祉員等の地区組織との繋がりができつつあります。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●地区組織との繋がりを強化し、連携した活動を実施します。

--

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	6 心身の健康づくり・健康寿命の延伸	
取組	こころの広場	担当課 障がい者支援課

1 内容

- 自宅に引きこもりがちな精神障がい者の社会参加促進のための「こころの広場」を実施します。

2 取組内容に係る方法・指標

- 「こころの広場」実施回数：12回/年間(月1回) 〈令和元年度〉同数

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- よなご健康ええがん体操、CHAXで運動体験、とっとり花回廊、ヨガ体験、プラネタリウム、大山紅葉狩り、クリスマス会、新年会、海とくらしの史料館へ見学等（実施回数11回/年間）

【成果】

- 自宅にこもりがちなコロナ禍ではありましたが、感染対策に留意して実施し、仲間と交流を持つことで精神安定を図り安心感を得られ、社会参加できました。

【課題】

- 参加者が固定化され年齢層が高くなっています。また特性に合わせ、グループ分けをした居場所づくりも必要です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	4	●新たな参加者の獲得や、様々な障がい特性を考慮したグループ設定など、解決すべき点もありますが、障がい者の社会参加のための活動として一定の効果があると考えます。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点がある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

- お出かけ、スポーツ、工作、室内ゲーム、クッキング、ウォーキング、クリスマス会、新年会、DVD鑑賞等を年間計12回開催を予定しています。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	6 心身の健康づくり・健康寿命の延伸	
取組	生活習慣改善への支援	担当課 健康対策課

1 内容

●健康相談、まちの保健室、いきいき健康ライフ教室等、各種健康教室の機会を利用し、大学や医療機関等と連携しながら、市民一人ひとりに合わせた生活習慣改善について支援します。

2 取組内容に係る方法・指標

●全地域で、まちの保健室、健康相談を実施します。
（1回/月、全29地区実施）〈令和2年度4月現在〉なし

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●「保健師の出張！なんでも健康相談」を月1回、各地区公民館等で実施しました。

【成果】

●利用者数：776名
●地区によって、保健推進員等と連携して、各地区にて栄養士のミニ講座、試食を実施しました。

【課題】

●知名度が低く、利用者が少ないです。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●月1回の実施はできましたが、周知が足りていません。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●公民館だより以外の周知を考え、スーパーや医療機関等に依頼し、ポスター掲示します。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	6 心身の健康づくり・健康寿命の延伸	
取組	食生活改善への支援	担当課 健康対策課

1 内容

- 食生活改善推進員 と連携を図り、各公民館で伝達講習会を実施するなど、健全な食生活の実践の大切さを広く市民に普及します。
- 生活習慣病予防のため、講習や調理実習などを通して健全な食生活に関する情報提供や啓発、その他栄養相談、指導を行います。

2 取組内容に係る方法・指標

- 各公民館で伝達講習を実施します。
（54回/年）〈令和元年度〉同数

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 新型コロナウイルス感染拡大により、調理実習などの伝達講習会の実施ができなかったため、食生活改善推進員と協力し、健全な食生活の実践を普及するためにレシピ集を作成しました。
- 生活習慣病予防のため、講話や調理実習、試食などを通して健全な食生活に関する情報提供や啓発、栄養相談を行いました。

【成果】

- 新型コロナウイルス感染拡大のため、食生活改善推進員の公民館での伝達講習会は実施できませんでした。（0回/年）
- 調理実習の代替えとして、講話と試食を行う講座を各公民館で実施しました。（28回/年）

【課題】

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これまで同様の取組の実施が難しい状況にあることから、工夫しながらの取組が必要です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●コロナ禍で従来通りの活動ができない中で、レシピ集の作成、調理実習を試食に変更するなど、状況に対応しながら取り組むことができた。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

- 食生活改善推進員 と連携を図り、感染予防対策に配慮しながら伝達講習会を実施するなど、健全な食生活の実践の大切さを広く市民に普及させます。
- 生活習慣病予防のため、講習や調理実習、試食などを通して健全な食生活に関する情報提供や啓発、その他栄養相談などにより個人が健康的な食生活を実践するための支援を行います。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	6 心身の健康づくり・健康寿命の延伸	
取組	ふれあい・いきいきサロンの充実	担当課 福祉政策課 市社協

1 内容

- ふれあい・いきいきサロン活動で行う介護予防の取組について、情報提供や講師派遣などの支援を行うことで高齢者の健康づくりを促進していきます。
- サロン世話人研修会を開催し、世話人同士の交流や連携を図るとともに、活動内容についての助言や介護予防活動を紹介する等サロン活動の充実を図ります。

2 取組内容に係る方法・指標

- 地域における交流の場となるよう、サロン活動を支援します。
 （サロンへの健康づくりに係る講師派遣：30回/年間） 〈令和2年度4月現在〉 15回程度/年間
 （サロン世話人研修会開催数：2回/年間） 〈令和2年度4月現在〉 1回/年間

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 情報提供や講師派遣等の支援を行い、高齢者の健康づくり、介護予防を促進しました。
- サロン世話人研修会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症により中止しました。
- 鳥取県社協主催「ふれあい・いきいきサロン世話人交流研修会」について各地区へ案内、参加を促しました。
- 「ふれあい・いきいきサロン用物品貸出事業」として、登録サロンへレクリエーション用品の貸出しを始め、各関係者へ広報誌等にて周知しました。
- 「コロナ禍におけるふれあい・いきいきサロン活動に関するアンケート調査」を実施し、コロナ禍でのサロン活動の状況や市社協への要望等を把握しました。

【成果】

- サロンへの健康づくり等に関わる講師派遣 〈令和2年度3月現在〉 15回
- ふれあい・いきいきサロン用物品貸出事業 〈令和2年度3月現在〉 6サロン・10件の貸出（令和2年10月1日より事業開始）
- アンケート調査結果を基に、「コロナ禍でのふれあい・いきいきサロン活動ヒント集」を作成、配布しました。必要な感染症対策を示すとともに、コロナ禍に工夫して活動できるサロンの情報提供等の支援ができました。

【課題】

- 講師派遣、世話人交流会事業について、感染症対策の観点から人数を限定しての開催、エリア別の開催など方法を工夫する必要があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●講師派遣については昨年同様の実施回数でしたが、世話人交流会はコロナ禍のため実施できませんでした。 ●物品貸出事業、アンケート調査の実施により、サロン活動を推進するための取組が実施できました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

- サロン講師派遣事業を継続し、サロン活動において健康づくり、介護予防が図れるよう支援します。
- 市社協主催によりサロン世話人研修会を開催し、世話人同士の交流や情報交換、連携を図るきっかけづくりをします。
- 「ふれあい・いきいきサロン用物品貸出事業」により活動内容の充実を図ります。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進		
基本計画	6 心身の健康づくり・健康寿命の延伸		
取組	認知症の正しい理解の促進・早期発見の推進	担当課	長寿社会課

1 内容

- 認知症サポーター養成講座の開催など、認知症の正しい理解を深めるための取組を推進します。
- 認知症の早期発見のため、公民館祭等、様々な機会を捉えて、認知症の簡易検査を行い、必要な人はその後の支援につなげます。

2 取組内容に係る方法・指標

- 研修により、認知症に対し正しい認識をもって見守ることができる人を増やします。
（認知症サポーター：30,000人養成 2,000人/年間）〈令和2年4月現在〉約20,000人
- タッチパネル式検査実施数：450件/年間〈令和元年度〉225件/年間

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 認知症サポーター養成講座を実施しました。
- 個別相談、訪問等で認知症の簡易検査を実施しました。
- 必要時、対象者・困りごとに適した支援に繋がりました。

【成果】

- 認知症サポーター数は令和2年度に637人養成し、20,625人となりました。
- タッチパネル式検査実施数 30件/年間

【課題】

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サポーター養成講座、例年タッチパネル式検査を実施していたイベントの開催中止が相次ぎ、サポーター養成数・タッチパネル式検査実施数ともに例年を大きく下回りました。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	2	●サポーター養成数が目標に達しませんでした。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点がある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

- 認知症サポーター養成講座、タッチパネル式検査共に、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意して積極的に実施します。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	6 心身の健康づくり・健康寿命の延伸	
取組	フレイル予防の推進	担当課 健康対策課

1 内容

●フレイルに関する知識の普及を行います。また、地域において運動機能向上のためのトレーニングに加え、口腔機能の改善や社会参加を促す取組を行うことにより、フレイル予防を推進します。

2 取組内容に係る方法・指標

●地区組織やサロンなど市民が集まる場での啓発に加え、個別訪問でフレイル予防啓発を行います。（各地区2サロンで年1回以上、計58回） 〈令和2年度4月現在〉 なし

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●新型コロナウイルス感染症の影響により、サロン活動が相次いで中止となりました。そのため、サロンに限らず地区組織会を始め、新規設置した出張健康相談、百貨店のお歳暮コーナーなど様々な機会を捉えて啓発を実施しました。

【成果】

●フレイル予防啓発実績
 ・集団の場・・・市内全域で、計305回
 ・個別訪問・・・213件（ハイリスク訪問で出会えた件数）

【課題】

●新型コロナウイルス感染症防止のため、計画通りに進めるのが難しいですが、令和2年度に出向くことができなかった通いの場でフレイル予防啓発に努めます。
 ●フレイルチェック後のフレイル予防の取組について、具体的に説明や実践ができる場が必要です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●新型コロナウイルス感染症防止のため、計画通りではありませんでしたが、市内全域のすべての地域で計画時より多くの場でフレイル予防啓発、フレイルチェック、フレイル予防体操等を実施できました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●公民館に新設した出張健康相談の場を拠点に、身近な社会参加及び運動習慣、健康教育・相談を受けられる場づくりを展開します。
 ●コロナワクチン集団接種会場での待ち時間を利用して、フレイル予防啓発DVDの上映、フレイルチェックを実施します。
 ●フレイル予防の拠点づくりの検討を行います。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	7 居住・就労・移動手段の確保支援	
取組	あんしん賃貸支援事業へのつなぎ	担当課 福祉課

1 内容

- 各相談窓口で住居確保に関する相談があった場合は、相談者に寄り添いながら住居確保の支援を行う「あんしん賃貸相談員」へつなぎます。

2 取組内容に係る方法・指標

--

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 生活保護者及び生活困窮者に対して、本事業を案内し、必要に応じて相談員につなぎました。

【成果】

- 生活保護者については、日ごろの相談の中でその家庭事情について把握しているため、当人により適した情報を提供することができました。

【課題】

- 不動産を賃貸する際に、保証人がいないや保証料が負担となっていることが課題です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●概ね順調に進んでいます。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

- 引き続き、住宅部局との更なる連携を図ります。

--

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	7 居住・就労・移動手段の確保支援	
取組	高齢者の就労支援	担当課 長寿社会課

1 内容

●高齢者が就労によって、地域社会において健康で活躍し続けることができる、生涯現役社会の実現を目的に、高齢者の雇用・就業機会の開拓とマッチングを図ります。

2 取組内容に係る方法・指標

●「米子広域シルバー人材センター」の事業として行う受託事業やシルバー派遣事業等により高齢者の雇用・就業機会の開拓を支援します。

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 受託事業を支援しました。
- シルバー派遣事業を実施しました。

【成果】

- 軽度生活援助事業、弓浜地域老人福祉センター及び淀江老人福祉センター事業でシルバー派遣を行うことができました。
- 困難な家事がある高齢者に対して、シルバー利用を提案しました。

【課題】

- 会員の高齢化が課題です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●会員及び利用者の増のため、引き続き周知が必要です。 ●新型コロナウイルス感染対策のため、一時期軽度生活援助事業の縮小を行う必要がありました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

- 引き続き、周知に努めます。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	7 居住・就労・移動手段の確保支援	
取組	障がい者の就労支援	担当課 障がい者支援課

1 内容

- 特別支援学校の生徒について、学校、相談支援事業所、就労する事業所等と連携し、卒業生の就労及び定着を支援します。
- 事業所（企業）の障がいに対する正しい理解の促進と障がいのある人の受入・職場定着の促進に向け、ハローワーク等の関係機関との連携を強化します。

2 取組内容に係る方法・指標

- ハローワークや障害者就業・生活支援センター等と連携して一般就労への移行や職場定着のための就労支援体制の構築を図ります。

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 卒業後の円滑な障がい福祉サービス利用に向けて、就労アセスメント会議を開催しました。また、福祉相談・移行支援会議に参加し、情報共有・情報提供を行いました。
- 一般就労を希望する障がい者の方へ、ハローワーク、障害者就業・生活支援センターしゅーとを通じて企業斡旋などを行いました。

【成果】

- 特別支援学校の生徒の卒業後の障がい福祉サービス利用に寄与しています。
- 障がい者の一般就労に寄与しています。

【課題】

- 卒業後も障がい福祉サービスの利用に向けた支援が必要な生徒もあり、在学中のさらなる情報共有の余地があります。
- 障がい者の就労に関しては一定の実績が認められますが、十分な連携が図れている状況とは言えません。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●就労実績はありますが、緊密な連携が図れていません。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度取組内容

- 企業等における障がい者雇用について継続した働きかけを行うとともに、連携の強化を図ります。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	7 居住・就労・移動手段の確保支援	
取組	障がい者雇用の促進	担当課 障がい者支援課

1 内容

●企業における障がい者雇用の促進を図るため、ハローワークにおける雇用拡大や企業開拓の取組との連携を図ります。

2 取組内容に係る方法・指標

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●一般就労を希望する障がい者の方へ、ハローワーク、障害者就業・生活支援センターしゅーとを通じて企業斡旋などを行いました。

【成果】

●障がい者の一般就労に寄与しています。

【課題】

●障がい者の一般就労について実績はありますが、市とハローワークなどの連携の結果として就労に結びついたとは言えない状況にあります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●就労実績はあるものの、緊密な連携が図れていません。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●企業等における障がい者雇用について継続した働きかけを行うとともに、連携の強化を図ります。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	7 居住・就労・移動手段の確保支援	
取組	ひとり親家庭に対する自立支援	担当課 子育て支援課

1 内容

●ひとり親家庭の父母の自立に関する相談に応じ、相談者の意向や生活状況、職歴などを把握して、相談者の実情に応じた自立支援プログラムを作成します。その後、ハローワークと連携し、就職や転職がしやすくなるようきめ細かい支援を行います。

2 取組内容に係る方法・指標

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】
 ●児童扶養手当現況案内郵送時（「以下、「児扶手現況時」」）に、母子父子自立支援プログラム策定事業のチラシを同封し、周知を行いました。

【成果】
 ●児扶手現況時に、出張ハローワークを開催していますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。
 出張ハローワークが中止になったため、就労相談、母子父子自立支援プログラム策定事業の申込増加となりました。

【課題】
 ●就労支援の相談体制の強化をする必要があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●母子父子自立支援プログラム策定事業の申込増加によるハローワークへの連携を強化することができました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●引き続き、母子父子自立支援プログラム策定事業の周知、ハローワークとの連携を強化していきます。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	7 居住・就労・移動手段の確保支援	
取組	福祉有償運送の実施	担当課 障がい者支援課

1 内容

●NPO法人等が事業主体となる「福祉有償運送」について、福祉有償運送運営協議会において事業の必要性を検討するとともに、必要に応じて指導・助言を行い、安全かつ適正な事業実施を図ります。

2 取組内容に係る方法・指標

--

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●福祉有償運送運営協議会を令和2年8月と令和3年1月に開催しました。

【成果】

●申請のあった6事業所すべての更新を認めました。

【課題】

●引き続き、事業の必要性及び事業者の更新の承認について、協議会において適正な判断を行います。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	5	●滞りなく実施できました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点がある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●令和3年8月と令和4年2月に福祉有償運送運営協議会を開催する予定にしています。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	7 居住・就労・移動手段の確保支援	
取組	障がい者のタクシー料金の助成	担当課 障がい者支援課

1 内容

●重度の障がいのある人に、社会参加を支援するため、福祉タクシー利用券を交付し、タクシーの初乗り料金相当額を助成します。

2 取組内容に係る方法・指標

●障がいがある人の社会参加を支援するため、福祉タクシーチケット券助成事業を継続して実施します。
〈令和元年度実績〉 交付人数460人

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●米子市に住所があり、身体障害者手帳1・2級、療育手帳A所持で、前年度住民税非課税世帯の方、及び生活保護世帯に属する方に対し、1か月につき3枚の初乗り料金額に相当する利用券を交付しました。

【成果】

●事業を継続することで、障がいのある方の社会参加を支援することができました。
〈令和2年度実績〉 交付人数453人（前年度から7名減少）

【課題】

●市内のタクシー会社から制度について確認の問い合わせがありました。制度開始から10年以上経過しているため、タクシー会社に対して改めて制度についての説明が必要と思われました。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	4	●手帳の新規交付の際に該当者に制度案内を行い、継続対象者に対しても確実な助成を行っており、今後も引き続き事業を推進します。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●令和2年度実施の内容を継続して行います。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	7 居住・就労・移動手段の確保支援	
取組	高齢者の移動支援	担当課 交通政策課 市社協

1 内容

●高齢者の通院、買い物等の移動手段を確保する方策について、住民活動等ボランティアによる支援も含めて検討していきます。

2 取組内容に係る方法・指標

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 住民活動による移動支援の取組を実施している地区に対して、補助金申請の手続き支援を行いました。
- 受託事業の支援を行いました。
- シルバー派遣事業の実施を行いました。
- 軽度生活援助事業、弓浜地域老人福祉センター及び淀江老人福祉センター事業でシルバー派遣を行いました。
- 困難な家事がある高齢者に対して、シルバー利用を提案しました。
- 高齢者バス運賃助成事業として、高齢者バス定期券「グランド70」の購入助成を行いました。

【成果】

- 高齢者に対する半額助成 360件
- 高齢の免許証返納者に対する助成 180件
- 取組を実施している地区に対して、活動費確保の支援ができました。
- 高齢者バス運賃助成事業 実績：540件

【課題】

- 会員の高齢化が課題です。
- 高齢者の移動手段の維持・確保には免許返納者に対する支援等のほか福祉施策と連携した支援の充実が求められます。
- 住民活動による移動支援の取組については、仕組みづくりやボランティアの確保、財源の問題など課題が多くあります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●「グランド70」の販売件数が前年度比で約1.6倍に増加しており、高齢者の移動支援として一定の効果があったと考えています。 ●一部住民活動による移動支援の取組を実施している地区がありますが、各地区にて移動手段の確保を実現するためには課題が多くあります。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

- 引き続き、周知に努めます。
- 引き続き、高齢者バス運賃助成事業を行います。
- 住民活動による移動支援の取組について、課題解決の方法を検討するとともに、補助金申請の支援等を継続します。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	2 総合的な支援と適切なサービス提供の推進	
基本計画	7 居住・就労・移動手段の確保支援	
取組	生活困窮者への支援	担当課 福祉課 市社協

1 内容

●生活困窮者自立支援事業により経済的、社会的困窮状態にある人に対し、住まいの確保や就労に関する支援を行います。

2 取組内容に係る方法・指標

●「生活困窮者自立相談支援事業」における就労支援対象者のプラン達成率を50%とします。

※評価基準は①出来た(5点)②出来なかった(1点)の2段階評価とします。

〈令和2年9月現在〉22%

●住まいの確保について、行政担当課や関係事業者とも連携した取組を継続します。

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 就労を希望する相談者を対象に自立相談支援事業による就労支援を行いました。
- 要件を満たす方に対して住居確保給付金事業の活用を促し、就職活動中の住居確保が図れるよう努めました。

【成果】

- 就労支援対象者プラン作成〈令和2年度3月現在〉25件（プラン目標達成率：52%）
一般就労開始6人・就労収入増加7人
- 生活保護受給者等就労自立促進事業〈令和2年度3月現在〉13件
- ハローワークや他関係機関と連携し、早期再就職に結びつけ、効率的な就労支援を行いました。就労が困難であった場合は、生活保護、年金請求等の適切な社会保障制度を活用できるよう支援しました。

【課題】

●再就職後にすぐに離職するケースが多く、職場定着支援が課題であると感じます。プラン終了後も相談体制を整え、ハローワーク等関係機関と連携して再就職後のフォローアップを図る必要があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●プラン作成目標を達成することができました。 ●就労支援により再就職を果たしても、再度離職するケースがあります。相談者の希望と就労適正のマッチングができていない可能性があり、適切な就労支援を行う必要があります。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●生活困窮者自立支援事業により経済的、社会的困窮状態にある人に対し、住まいの確保や就労に関する支援を行います。